

100周年通信 第23号

R5 3.10

今回は卒業式の話をしてします。



3年ぶりに在校生が卒業式の運営に加わりました。



受付も2年生が担当しました。これまでの3年間は職員が担当していました。



大嶋校長先生は、式辞の中で
「あなたたちの高校生活に愛は
あったでしょうか？」
と卒業生に問いかけられまし
た。そして、
「愛のある行動は清く正しく美し
いのです」とおっしゃいました。



続けて、寓話「ウサギとカメ」にふれられました。

「亀はうさぎと競争したのでしょうか？亀の本当の競争相手は自分自身だったのではないのでしょうか？亀は勝負を全うしたことで成長し、うさぎは競争に負けたことで成長したのです。

君たちもひたむきに努力する大高魂を大切にしながらこれからの人生を生きていてください」

と語りかけられました。

来賓挨拶の中でPTA会長の西山さまは、開口一番

みなさんの高校3年間は、新型コロナウイルスの影響で、「何でもやめてしまえば問題ない」といった考えが大勢を占め、様々なイベントを中止にしてきました。そんな大人たちを代表して謝罪します。申し訳ありませんでした。

誤魔化しのない潔さに思わず唸りました。



生徒会長の赤元さんが

**「先輩方の今までの努力
が、これからの100年の礎
になります」と饗のことばを
送り、**



卒業生を代表して前生徒会長の
柏倉さんが、
「大津高校を選択して大正解
でした」と
胸を張って宣言しました。



前日の予行で二回ほど練習しただけでしたが、

在校生（生徒会役員・吹奏
楽部員・保護者受付係）
が、蛍の光の歌声を会場
全体に響き渡らせました。
わずか60人による斉唱で
す。



続いて、これまた前日だけの練習で

卒業生が、
「仰げば尊し」を
見事に歌い上げ
ました。



そして、いよいよ校歌斉唱です。

この三年間、ほとんど歌う機会がなかった校歌を高校生活の最後に全員で歌いました。



私も生徒会長の赤元さんと一緒に吹奏楽部の演奏に合わせて大きな声で歌いました。とっても気分爽快でした。3年ぶりに体育館で歌うことができました。

滞りなく卒業式が終了し、式後の行事に移りました。ここで保護者代表の挨拶がありました。3学年委員長の早津田さまです。子どもを支える親も同様にたいへんな3年間だったと思います。

親の子に対する愛情あふれるご挨拶の中で

今日からは、それぞれの道へ進んでいきます。いいことばかりではありません。困難に出会うときもあるでしょう。そんなときは、一人で悩まずに家族や友人に相談してください。恥ずかしいことはありません。困難なことがあるからこそ人は成長できるのです。



あいさつの最後に

**本当に生まれてきてくれて、立派に育ってく
れてありがとう。**

**あなたたちは、わたしたちが生きてきた証で
あり、わたしたちの誇りです。**



至るところに**愛**が感じられる
卒業式でした。